ＰＤＡ即興型英語ディベート北海道交流大会２０２３

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 10 月 9 日（月・祝）09:00-13:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：2 校、3 チーム（北海道釧路湖陵高校・北海道旭川東高校）
参加者：生徒 10 名、教員 5 名
スタッフ：PDA スタッフ、同志社大学

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION　KDDI Foundation

開会式では、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）ディベート推進委員長 大賀隆次より、昨今の世の中における即興型英語ディベートの必要性やラウンド間の交流の重要性とともに、激励のご挨拶をいただきました。次に、札幌東高校の手塚茂也先生より、「この即興型英語ディベートの特徴は議論を深めていくことです。コミュニケーションが大事となってくるので、『発信』『受信』ともに積極的に頑張ってください。」とメッセージが送られました。

そして、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。

PDA 大賀によるご挨拶

手塚先生によるご挨拶

POI の練習

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「***Students should be prohibited from using ChatGPT.*** (生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。)」でした。肯定側は、生徒は情報の正誤を精査する力に欠けるため、誤った情報を鵜呑みにしやすいことや思考力の低下、文章を作成する能力の低下という点についてスピーチしました。対する否定側は、塾へのアクセスの有無による教育格差を埋めることができることや自身で思考するより

も広い視野での考えにアクセスができ、理解が深まるという点について説明しました。

内容を深めるための POI が活発に交わされ、コミュニケーションがたくさん生まれたディベートでした。相手の POI に対して、自分たちの考えをしっかり返答することができていました。

ディベート後のエアー握手

POI にチャレンジ！！！

続く第 2 ラウンドのお題は、「***Japan should increase defense spending.***（**日本は防衛費を増額すべきである。**）」でした。肯定側は、地震等の災害の際に多くの人を救うことができることや他国の脅威に対する防衛の必要性を主張し、否定側は、防衛のために費やしたお金が争いにつながりやすく危険であることについて強く主張しました。どんな他国の脅威があり、その場合にアメリカ等がどう対応するのかなど、第 1 ラウンドよりもさらに背景知識も理由や具体例に盛り込まれ、白熱した議論となりました。

相模原 vs 旭川東 A

釧路湖陵 vs 旭川東 B

POI!!!

ディベート後のエアー握手

ディベート後の交流の様子

PDA ジャッジによる好評

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「***Japanese students should go to university abroad.***（大学は海外に進学すべきである。）」でした。肯定側・否定側のどちらも生徒の将来にとってどちらの方が得られるものがあるのかについて議論を深めました。肯定側は、海外の方が施設や教授面での環境が整っていること、幅広い選択肢を得ることができること、異なる価値観や背景を持った人との出会いが格段に増え、視野を広げることができること、英語を話さざるを得ない環境に身を置けることなどに着目しながら深く分析しました。否定側は、オープンキャンパス等で事前にじっくり進学先を考えることの重要性や国内で働く将来を見据えると国内の大学の方が人脈など得られるものが多く、将来の収入に影響することなどについて分析しました。

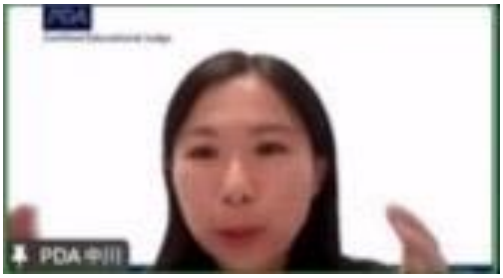
ディベートを見学していた生徒と教員の挙手投票により、否定側の勝利となりました。エキシビションディベータに選ばれた生徒は「いつも一緒に練習する仲間以外とチームを組んでディベートをする経験が大変貴重で、いい練習になった。」「２ラウンドを通して上手だった相手の真似をすることで上達を感じられた。」「反論等を通して、新たな視点と刺激を得ることができた」と感想を述べ、ジャッジとして見学した生徒は「仲間が他校と混ざってディベートしている様子を見て客観的にも成長を感じた。」「客観的に観戦して得られたものも多かった。」と感想を述べました。

エキシビションディベートの様子

スピーチの様子

ディベート後のエアー握手

閉会式では、表彰が行われ、最後に PDA 代表理事中川智皓より、エキシビションディベートの論題と絡めながら、留学についてのキーノートレクチャーで得た印象的な言葉である「マイノリティーになる経験」が留学のメリットであることや論理の重要性とともにメッセージが送られました。最後に、今回個人賞で表彰を受けた生徒が「他校との対戦を通して頑張れたしいい経験になった。」「自分を高める意識を持てた。」「交流の時間に他校の活動について知れて参考になった。」と本日の感想を述べ、北海道交流大会 2023 を終了しました。



PDA 中川によるご挨拶

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- PM　　＿＿＿＿＿さん　相模原高校
- LO　　＿＿＿＿＿さん　相模原高校
- MG　　＿＿＿＿＿さん　旭川東高校
- MO　　＿＿＿＿＿さん　旭川東高校
- LOR　　＿＿＿＿＿さん　釧路湖陵高校
- PMR　　＿＿＿＿＿さん　旭川東高校

ベストディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1 位　釧路湖陵高校
- 2 位　旭川東高校　A チーム
- 3 位　旭川東高校　B チーム

〈ベストディベータ賞〉

- ＿＿＿＿＿さん(釧路湖陵)★2 回
- ＿＿＿＿＿さん(相模原)
- ＿＿＿＿＿さん(相模原)
- ＿＿＿＿＿さん(旭川東 A)
- ＿＿＿＿＿さん(釧路湖陵)

ベスト POI 賞

〈ベスト POI 賞〉

- ＿＿＿＿＿さん（釧路湖陵)★2
- ＿＿＿＿＿さん（相模原)
- ＿＿＿＿＿さん（相模原)
- ＿＿＿＿＿さん（旭川東 B)

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

・緊張したけど、最後まで話し切ることができてよかったです。ありがとうございました。（旭川東高校）

・即興型のディベートの面白さを知れたので、普段の部活動でも取り入れてみたいと感じた。あと、他校のディベート能力が高く、また英語も即興だとは思えないくらい完璧で、日々の取り組みの積極さを感じた。見習いたい…！（旭川東高校）

・他校と自由に話せる機会をもらえたのがとてもうれしかったです。（旭川東高校）

・最初は訳がわからなくてとても困ったけど、影響があった方がいいって言われたので、次は影響を意識したり、他の学校の方がたくさんしゃべっているのを見て、自分ももっと話せるように努力したりと、ひとつづつ改善するのが楽しかったです。（旭川東高校）

・自分の力量不足を知る良い経験になりました。新しい練習方法などを知ることができたので、ぜひ実践していきたいです。（旭川東高校）

・他校とディベートの試合をするのは初めてで緊張しました。自分はPMRでしたが、話の流れを捉えられず何を言えばいいのかわからなくなってフリーズしてしまったところがあったので、英語力のみならず、何が大事なのかを判別する国語の力も自分の課題だなと気づかされました。また、最初の議題で出てきた、チャットGPTは今日初めて聞いた言葉だったので、日頃から学校の勉強を頑張るだけではなくニュースや新聞などを通して社会で話題になっているようなことにも関心をもつ、そんなアンテナをはることにも励みたいと思いました。ディベート、難しかったですがとても刺激的な体験でした。（旭川東高校）

・沢山の視点を知れたり、アドバイスを頂けてとても良かったです。（釧路湖陵高校）

・色んな高校の生徒と交流出来ていい経験になった。（釧路湖陵高校）

・他の高校のレベルが高くてとてもびっくりしたけど何とかついていこうとがんばりました！自分の英語はまだまだだなと思ったのでもっとチームの人の役に立てるように自分の英語力を高めなければならないなと思いました。（釧路湖陵高校）

（教員の声）

・エキシビジョンだけ見学させていただきましたが、レベルが高く、初めての生徒さんもいたとは驚きました。マイノリティーになる経験が気づきにつながる、ディベートは考える訓練になる、フローシートの取り方の説明など勉強になりました。